



10月20日提出 八地申第2号

現業機関における柔軟な働き方の実現に向けた 統括センターの設置に関する説明申し入れ 提出！！

2023年10月4日、支社から「現業機関における柔軟な働き方の実現に向けた統括センターの設置について」提案を受けました。

2022年3月12日、6つの営業統括センターがスタートし、乗務員区の全社員が兼務になり、合わせて組織横断プロジェクトや各ユニットも発足し活動しています。しかしこれまで、現場社員からは丁寧な意識づけもないまま勤務指定・変更による除草や駅構内での案内業務、警備等の業務を担うなど、直前の勤務通告になり、必ずしも施策への納得感が得られているとは言えず、成長意欲・チャレンジを具現化できるフレキシブルな組織として活躍のフィールドが広がられているのか疑問と不安の声が後を絶ちません。また安全で安定した輸送を支えるためには「主たる業務」を明確にした作業環境と要員の配置が重要な課題でもあります。

鉄道事業の最大の根幹である安全な職場を構築し、社員が描くキャリアプランに近づけモチベーションを保つことも成長的発展につながる要素でもあります。

八王子地本は、組合員が安心感や納得感をもって施策に向き合い、魅力あるJR東日本会社・グループ会社を構築し、働きがいがあるように下記の通り申し入れました。

申し入れ項目

1. 統括センターにする目的と根拠、発足に向けたスケジュールを明らかにすること。
2. 東所沢運輸区(仮称)が立川統括センターではない理由を明らかにすること。
3. 営業・運輸の垣根がなくなるので、統括センター施策と新たなジョブローテーション施策との整合性を明らかにすること。
4. 統括センターと他営業統括センターとの兼務・連携について明らかにすること。

今、安全で働きがいのある職場現実でしょうか？

安全・健康・ゆとり・働きがいある環境を
つくりだそう！！

